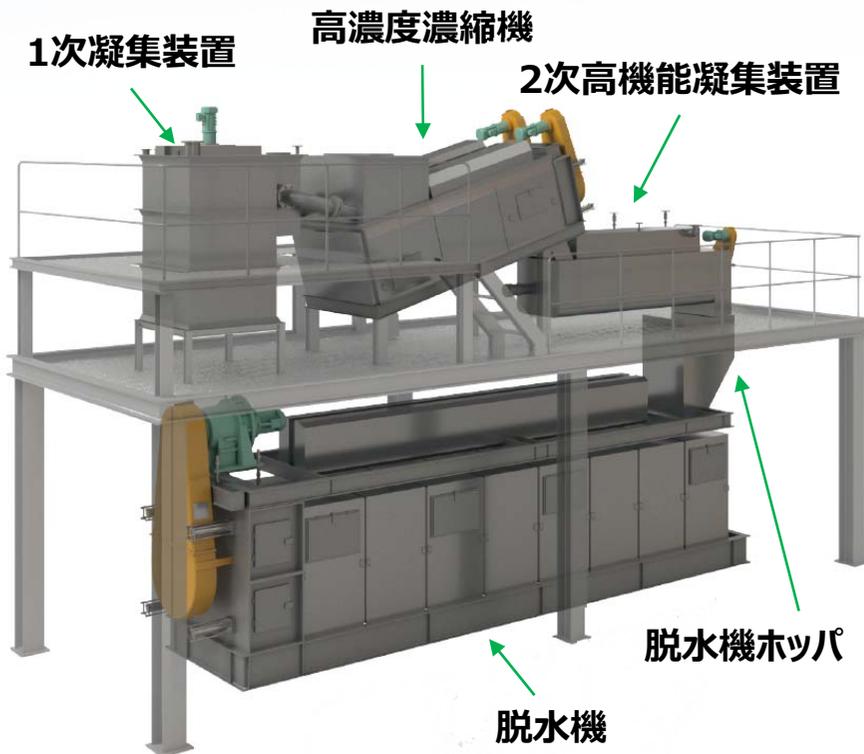


難脱水対応強化型スクリーブレス脱水機

背景

従来の汚泥処理設備の課題	近年の汚泥処理設備の課題
LCC低減、温室効果ガス排出量の低減	食生活の変化等による汚泥性状の変化（高VTS化）、汚泥処理の広域化・共同化、エネルギー回収手段としての消化導入が進む中、汚泥が難脱水化している。

➔ これら課題に対し、確実に**難脱水汚泥に対応**できる**低含水率・低動力**の脱水機が必要



技術概要

下記の特長により、**適正な凝集フロックの形成**とその**凝集フロックに適正な力を加える脱水**を実現し、難脱水汚泥を低含水率化する。またスクリーブレスのため、低動力である。

1. **前濃縮による高濃度化**
2. **凝集方法の最適化**
3. **汚泥のホッパ供給**

比較的脱水容易な汚泥（混合生汚泥等）においては前濃縮無しで脱水性能を達成可能である。

導入のメリット

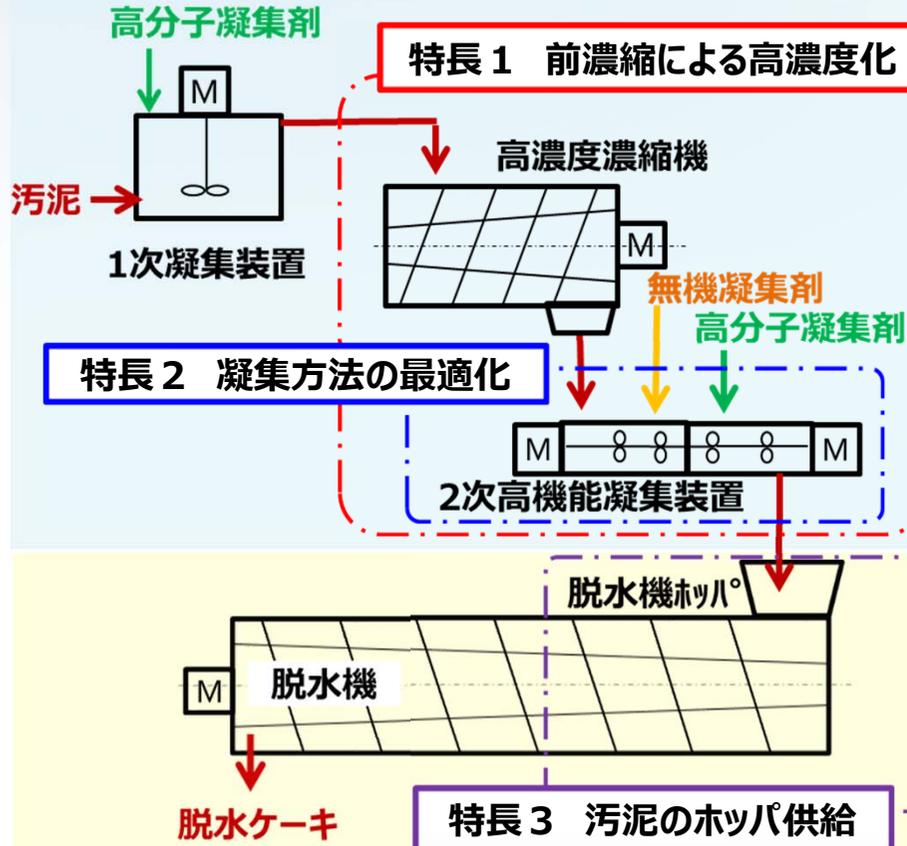
低動力にて確実に難脱水汚泥を低含水率化することで、LCCと温室効果ガス排出量を低減する。

下記のような高VTS域の汚泥に実績を有する。

1. 消化汚泥 : VTS 77%
2. 混合生汚泥 : VTS 89%

本脱水機のフローと特長

適正な凝集フロックの形成



凝集フロックに適正な力を加える脱水

特長 1 前濃縮による高濃度化

従来の機械濃縮より更に高濃度化し、脱水に悪影響を及ぼす因子を排除 → **薬品反応効率の最大化**

特長 2 凝集方法の最適化

凝集操作（フロック形成）は脱水の中で最重要ポイント。
高機能凝集装置で脱水機投入前に確実にフロック形成する。

- 薬注点の最適化等で凝集効果・効率の向上。
 → **薬注条件最適化**
- 攪拌強度を任意設定可能（前・後段で機能分離）
 → **混合条件最適化**

特長 3 汚泥のホッパ供給

フロックを壊さないよう穏やかに安定的な供給を行う。
 → **フロックの変化に合わせた適正な力を徐々に加える脱水**

